



30. 4. 20
統合幕僚監部

平成29年度自衛隊の災害派遣及び不発弾等処理実績について

1 全般

平成29年度の災害派遣の派遣件数は501件、派遣人員は延べ23,838人（九州北部豪雨における派遣人員を除く。）でした。そのうち、大規模な災害派遣※としては、①平成29年7月九州北部豪雨に係る災害派遣、②山林火災に係る災害派遣及び③福井県における大雪に係る災害派遣を実施しました。

また、不発弾等処理の実績については、陸上において発見された不発弾等の処理件数は1,611件及び処理重量は約49.5トンで、海上における機雷等の処理個数は12個及び処理重量は約1.8トンで、その他の爆発性危険物の処理個数は15,488個及び処理重量は約6トンでした。

※ここでのいう大規模な災害派遣とは、派遣規模約5,000人以上をいう。

2 細部実績

(1) 災害派遣

派遣件数は、過去5年間の平均（530件）に比べて約30件少ない件数でしたが、派遣件数の内訳は、過去5年間、概ね一定の割合で推移しています。そのうち、急患輸送の占める割合が一番大きく、平成29年度は401件で、全体の約80%を占めています。

(2) 不発弾等処理

ア 陸上において発見された不発弾等の処理件数は平成元年以降概ね一定、処理重量は減少傾向にあり、沖縄県の占める割合が大きく、平成29年度は処理件数が約34%、処理重量が約37%を占めています。

イ 海上における機雷等の処理個数は年度ごとに大きく変動しますが、処理重量は減少傾向にあります。

3 平成29年度の大規模な災害派遣

(1) 平成29年7月九州北部豪雨に係る災害派遣

陸上自衛隊第4師団を中心として、陸上、海上及び航空自衛隊の部隊が、人命救助活動等を約50日間実施しました。派遣規模は人員延べ約81,950人、車両延べ約7,140両及び航空機延べ約170機でした。

(2) 山林火災に係る災害派遣

平成29年度は、年度を通じて発生した山林火災のうち11件（前年度の約3倍）消火活動を実施しました。派遣規模は人員延べ約10,800人、車両延べ約1,270両及び航空機延べ約300機でした。特に、5月に連続的に発生し、約2週間で、4県（5市町）において5件の消火活動を実施しました。

(3) 福井県における大雪に係る災害派遣

平成30年2月初旬から断続的に降り続いた大雪により、福井県内の国道8号線で約1,400台以上に及ぶ車両の立ち往生が発生し、人命救助等に係る活動を実施しました。派遣規模は人員延べ約4,925名及び車両延べ約805両でした。

JOINT STAFF PRESS RELEASE

<http://www.mod.go.jp/js/>

平成29年度自衛隊の災害派遣及び 不発弾等処理実績について



30.4.20
統合幕僚監部

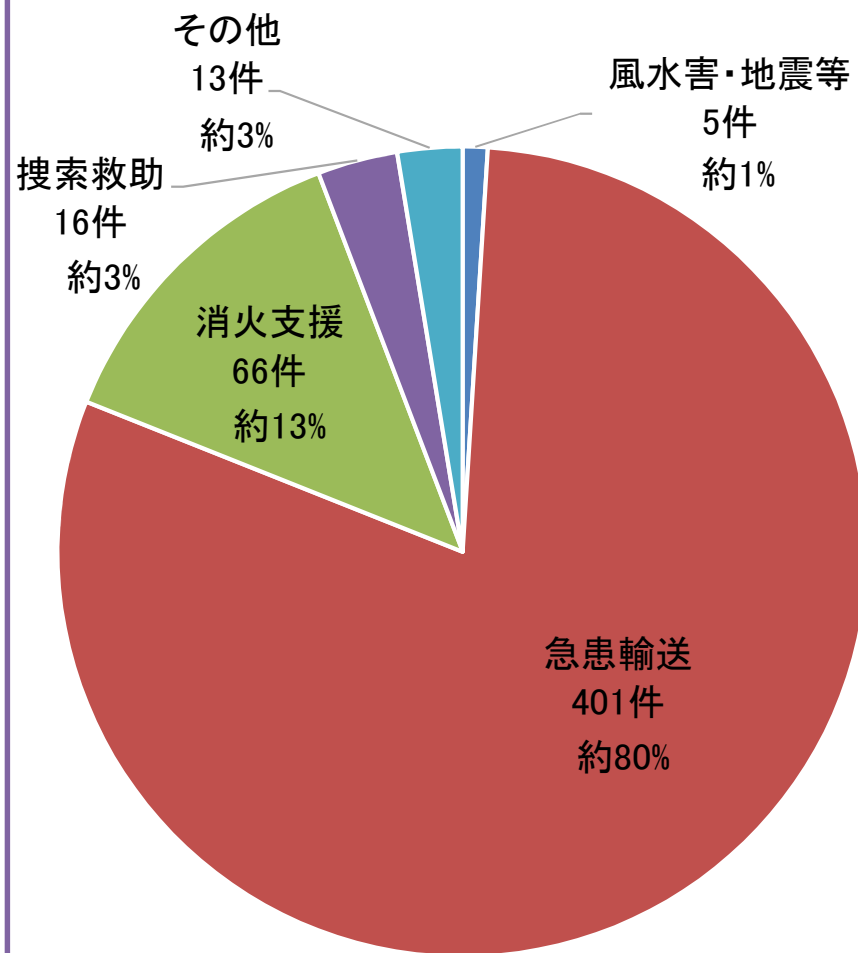


1 災害派遣



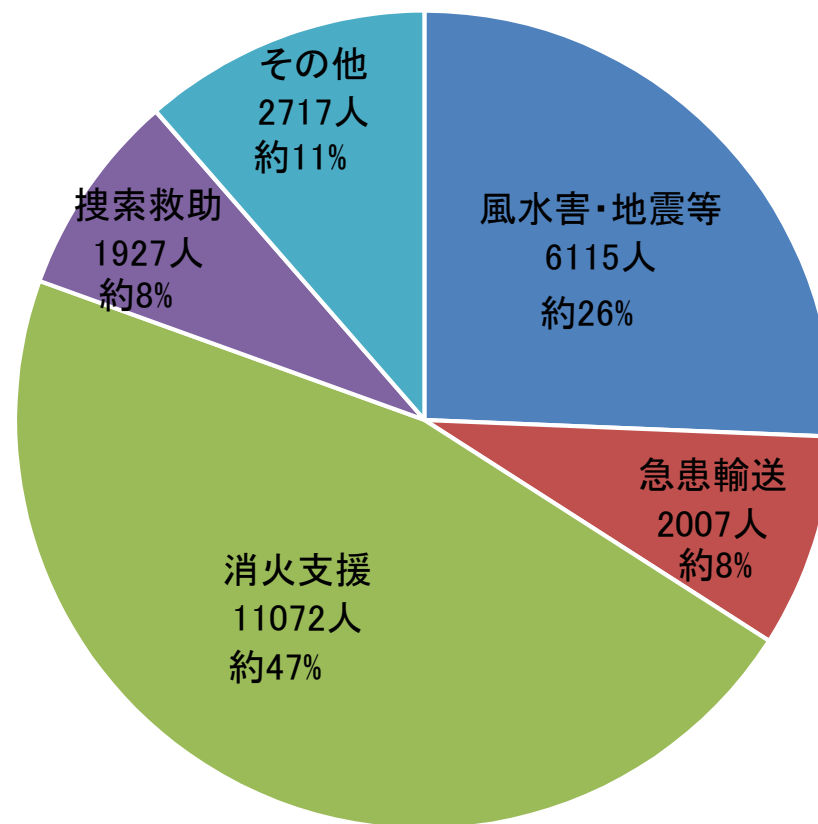
平成29年度の災害派遣の実績

① 災害派遣件数別内訳



総件数: 501件

② 災害派遣人員別内訳



総派遣人員: 23, 838人

(九州北部豪雨の人員(約81, 950人)を含まない。)



平成29年度に実施した大規模な災害派遣

件 名	派遣人員	時 期	活動地域	活動内容
平成29年7月九州北部豪雨に係る災害派遣	約81,950人	7/ 5～8/20	・福岡県 ・大分県	・人命救助 ・生活支援 等 ※別紙第1参照
山林火災に係る災害派遣	約10,800人	年度を通じ、 派遣件数:11件	・岩手県 ・群馬県 ・長野県 ・静岡県 ・島根県 ・福島県 ・東京都 ・山梨県 ・兵庫県 ・大分県	・空中消火 ・地上消火 ※別紙第2参照
福井県における大雪に係る災害派遣	約4,960人	2/ 6～2/10 2/15～2/18	・福井県	・除雪支援 ・食事等配布 等 ※別紙第3参照

※ここでの大規模な災害派遣とは、派遣規模約5,000人以上をいう。

九州北部豪雨(福岡及び大分県)



山林火災

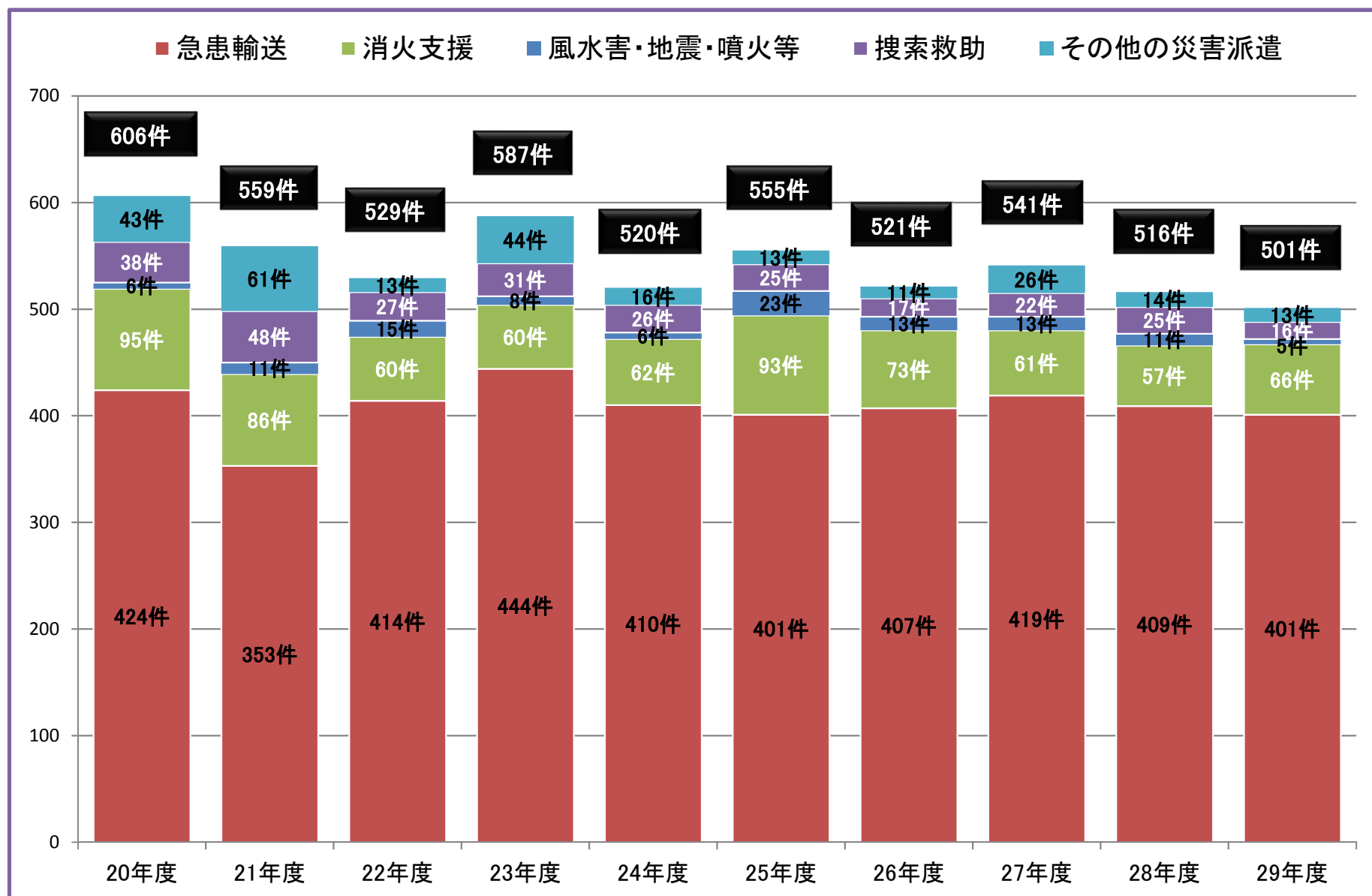


福井県における大雪





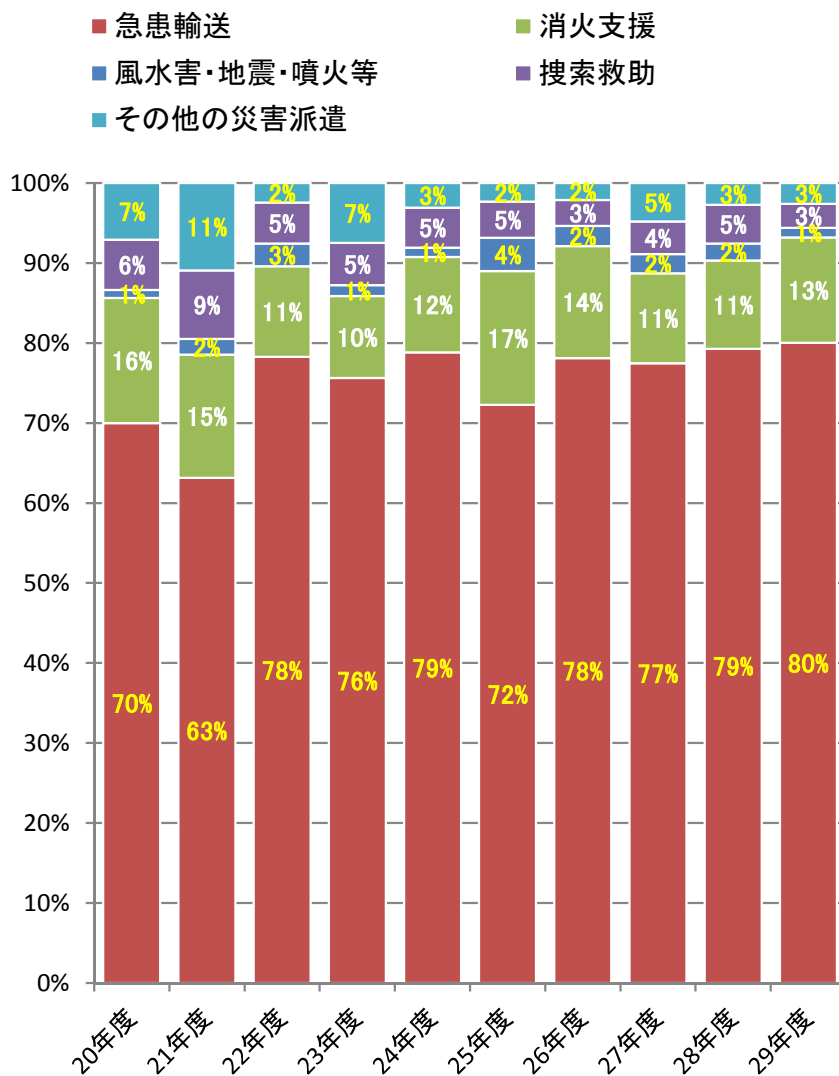
災害派遣件数の推移(過去10年間)



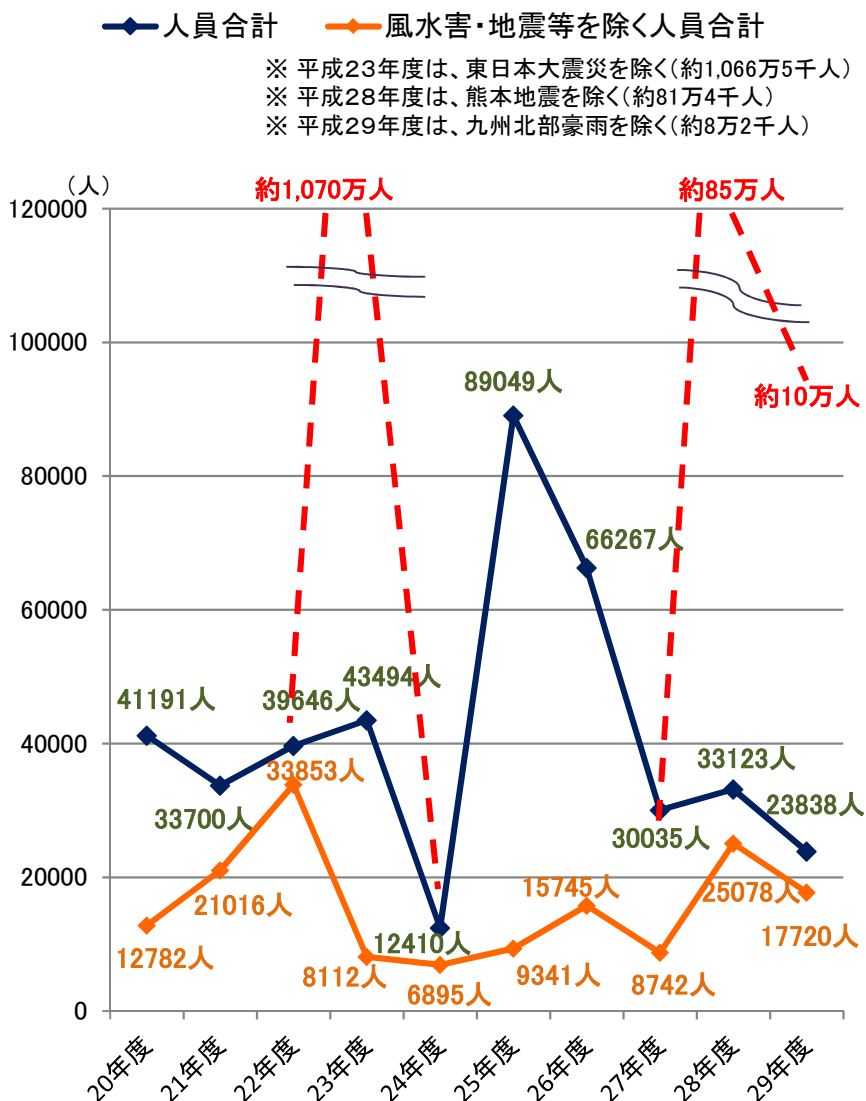


派遣内訳及び派遣人数の推移(過去10年間)

① 派遣内訳の推移



② 派遣人数の推移





風水害・地震等に係る災害派遣実績

平成29年度実績 : 5件

件 名	時 期	要請元	活動部隊
大分県臼杵市における水防等活動	9月17日(日) 1525	大分県知事	陸自:第41普通科連隊(別府)、西部方面航空隊(高遊原)及び第4飛行隊(目達原)
大阪府岸和田市における人命救助	10月22日(日) 1945	大阪府知事	陸自:第37普通科連隊(信太山)
草津白根山における噴火に伴う人命救助等	1月23日(火) 1051	群馬県知事	陸自:第12旅団長(相馬原)等 空自:中部航空方面隊司令部支援飛行隊(入間)
福井県における大雪	2月6日(火) 1400	福井県知事	陸自:第14普通科連隊(金沢)等
福井県福井市における除雪支援	2月15日(木) 1647	福井県知事	陸自:第372施設中隊(鯖江)

【外数】

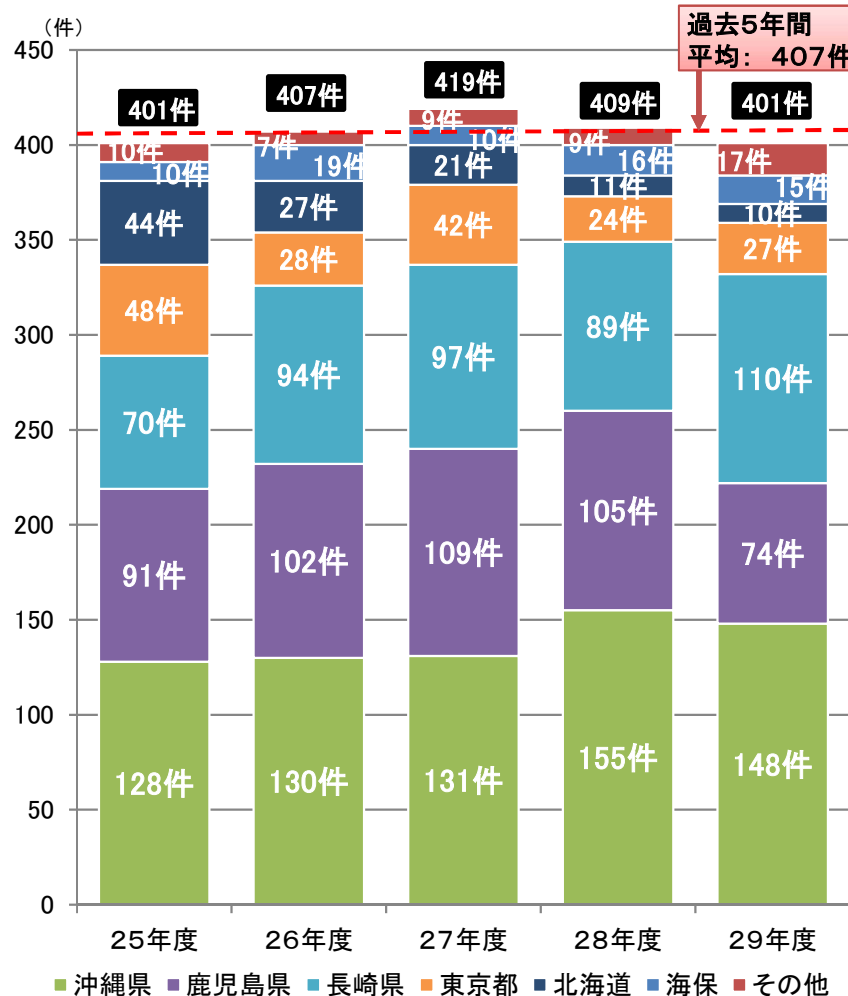
件 名	時 期	要請元	活動部隊
平成29年7月九州北部豪雨に係る災害派遣	7月5日(水) 1900	福岡県知事	陸自:第4師団(福岡)、第4戦車大隊(玖珠)等 海自:第22航空群(大村)等 空自:西部航空警戒管制団(春日)等
	7月5日(水) 1930	大分県知事	



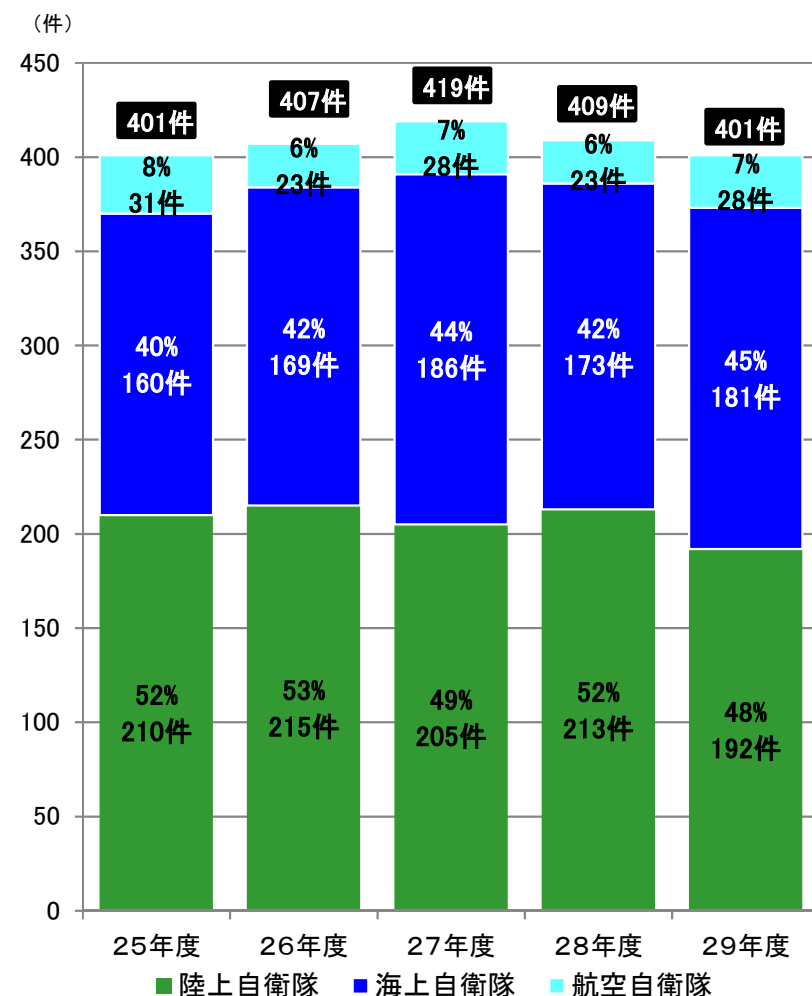
急患輸送実績

■ 29年度総件数 : 401件
総件数は、過去5年間の平均とほぼ同数

① 件数及び要請都道府県別実績推移



② 陸・海・空自衛隊別実績推移



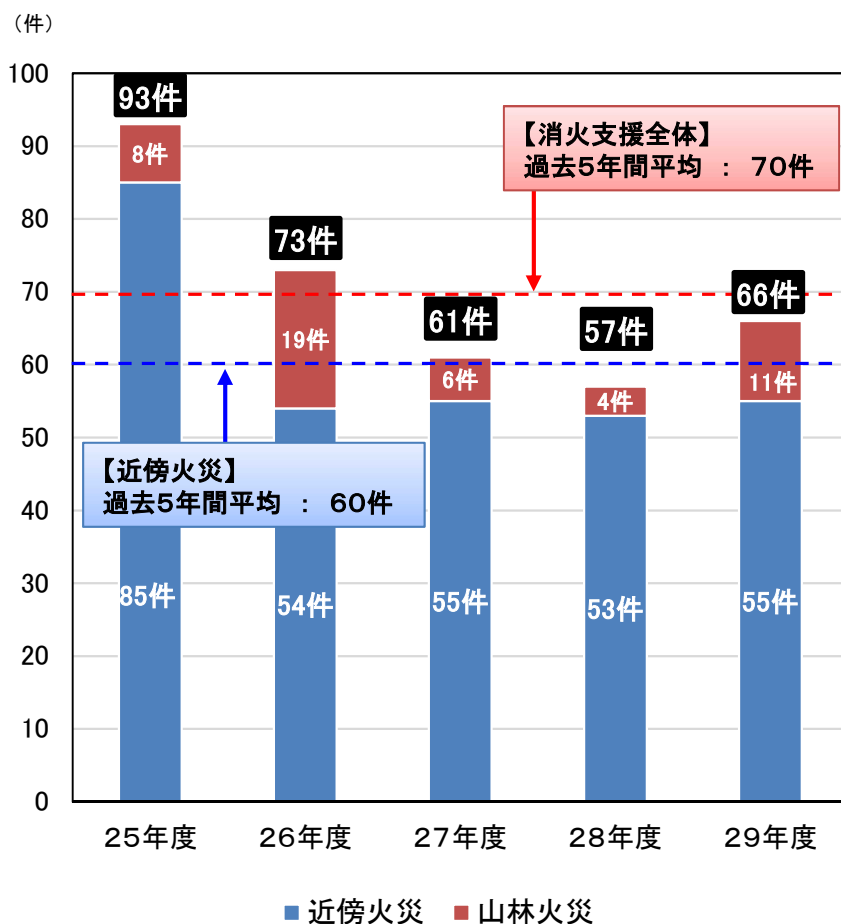


消火支援実績

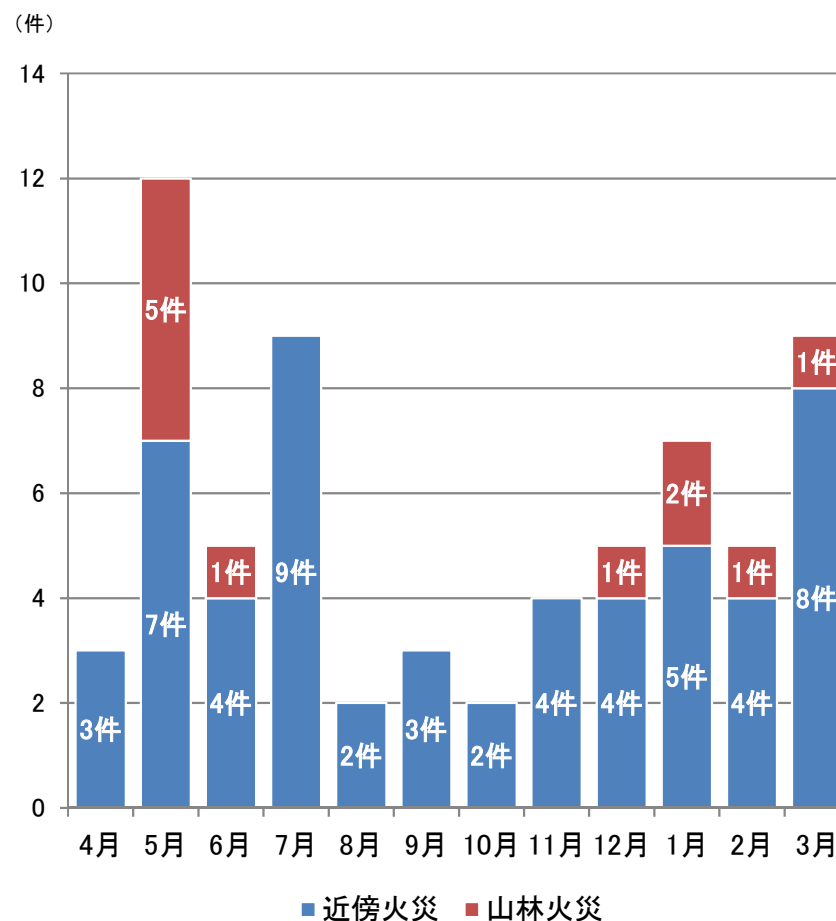
■ 29年度総件数：66件

- 総件数は、過去5年間の平均とほぼ同数(前年度より9件増)
- 山林火災は、前年度の約3倍の11件を実施

① 件数年度別実績推移(過去5年間)



② 平成29年度の活動件数月別実績

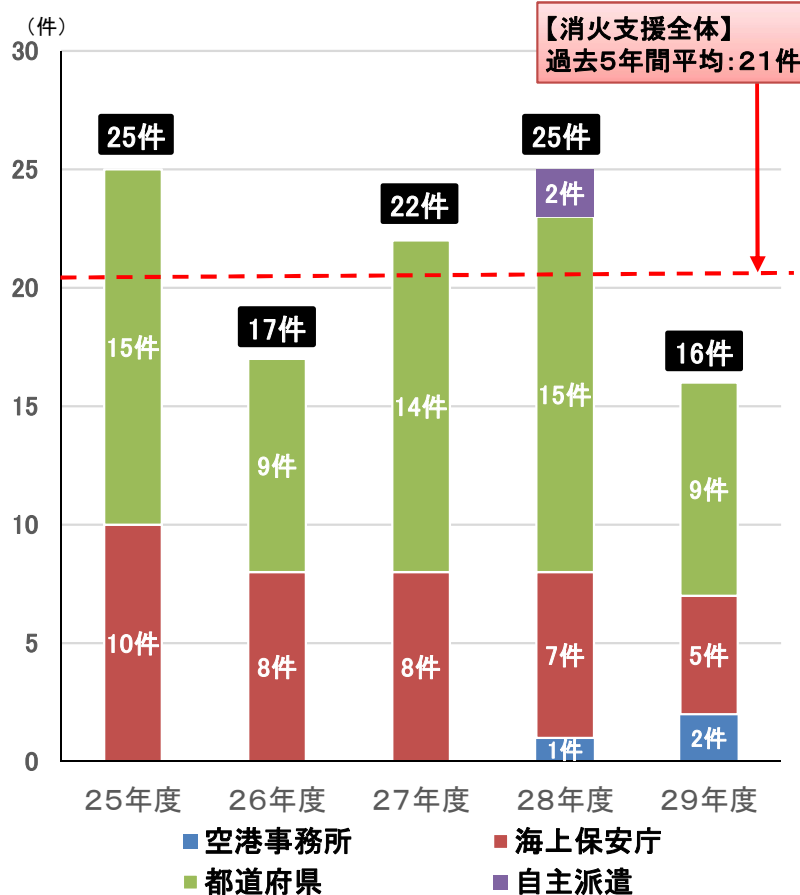




搜索救助実績

- 29年度総件数： 16件
- 件数は、減少(前年度より9件減)
- 活動内容は、ほぼ例年と同様

① 件数年度別実績推移(過去5年間)



② 平成29年度の要請機関別実績： 16件

	件数	要請元	種 類	活動部隊
都道府県	9	北海道知事 山形県知事	行方不明者 搜索	陸自: 第18普通科連隊(真駒内)、第28普通科連隊(函館)、第2高射特科大隊(旭川)、第20普通科連隊(神町)等
海上保安庁	5	第二、三、七、十及び十一管区海上保安部長	・行方不明者 搜索 ・行方不明船舶 船舶搜索	海自: 佐世保地方隊(佐世保)、横須賀地方隊(横須賀)、第2航空群(八戸)、第4航空群(厚木)、第5航空群(那覇)等 空自: 芦屋救難隊
空港事務所	2	東京空港事務所長	・行方不明機の 搜索 ・人命救助	陸自: 第14普通科連隊(金沢)、第382施設中隊(富山)等 空自: 第6航空団(小松)、松島、小松、新潟及び百里救難隊



その他の災害派遣実績

平成29年度実績 : 13件

【細部活動実績(一部)】

活動内容	時期	要請元	派遣部隊
高病原性鳥インフルエンザに係る鶏の殺処分等	1月	香川県知事	陸自:第14旅団(善通寺)
寒気等の影響による断水のための給水支援	1月	新潟県知事	陸自:第30普通科連隊(新発田)等 空自:第46警戒隊(佐渡)
	1月	石川県知事	陸自:第14普通科連隊(金沢) 空自:第23警戒群(輪島)及び第6航空団(小松)
米軍機F-16の燃料タンク投棄に伴う燃料等の回収	3月	青森県知事	海自:大湊地方隊(大湊)等 空自:第3航空団(小松)等

鶏の殺処分等



給水支援



燃料等回収





2 不発弾等処理



陸上において発見された不発弾等処理実績の推移

■ 全 国： 処理件数1,607*件、処理重量 約49.9*トン

- 記録のある昭和50年度以降、戦後の時間経過に伴い、**処理件数・処理重量ともに急激に減少**
- 平成以降、全体としての**処理件数は概ね一定**

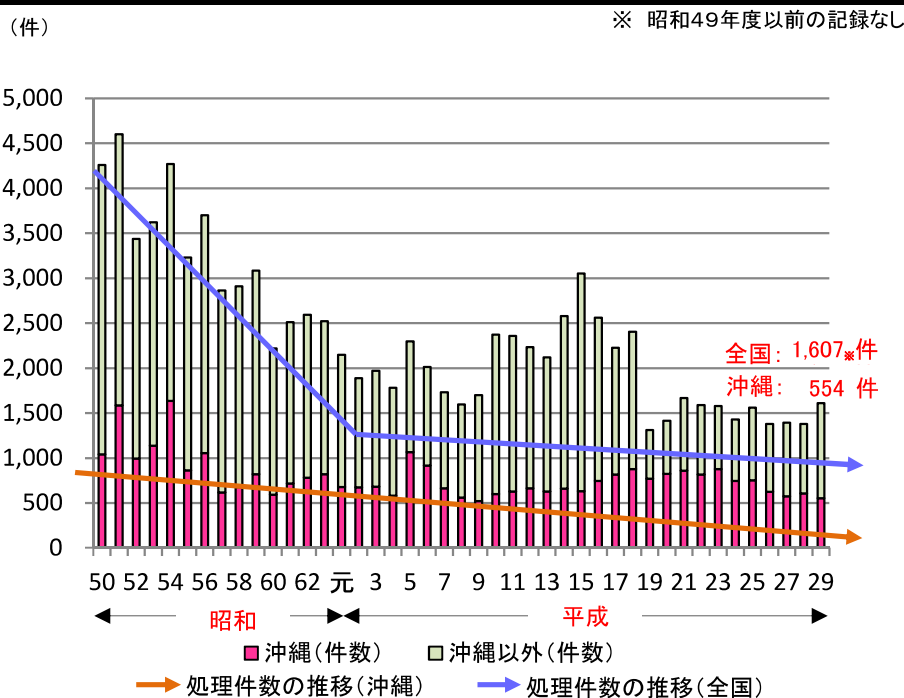
※ 公表後に、下記のとおり誤りが発覚したことから訂正しております。
誤) 処理件数 1,611件、処理重量 約49.5トン
正) 処理件数 1,607件、処理重量 約49.9トン

■ 沖 縄： 処理件数 554件、処理重量約18.5トン

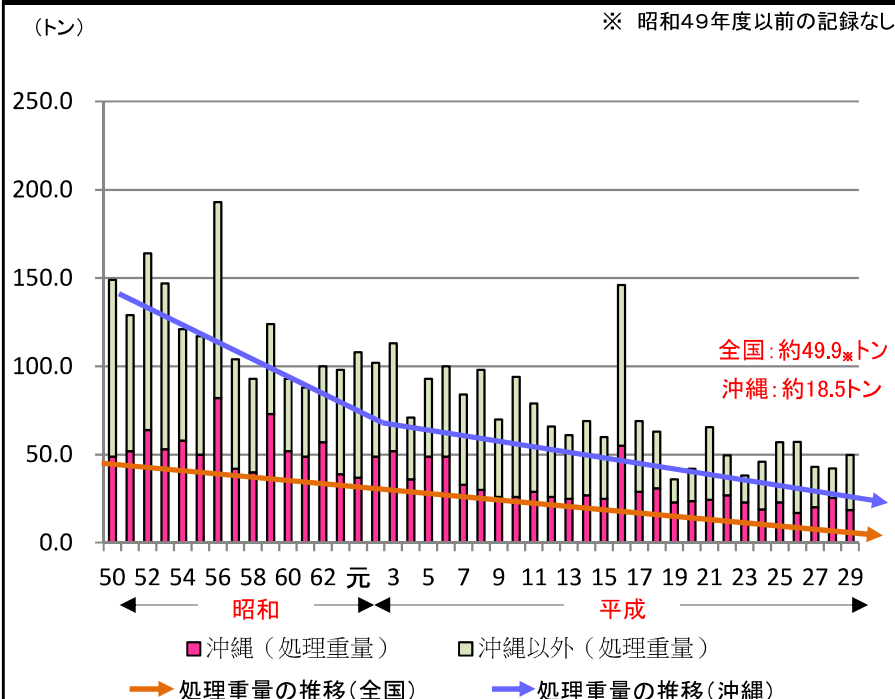
- 記録のある昭和50年度以降、沖縄県では**処理件数及び処理重量ともに緩やかに減少**
- 処理件数及び処理重量ともに**沖縄県の全国に占める割合が大きく、平成29年度は処理件数の約34%、処理重量の約37%**

(処理件数の全国比は、昭和50年度～平成19年度平均が約31%に対し、平成20～29年度平均が約48%)

① 不発弾等処理件数の推移



② 不発弾等処理重量の推移





海上における機雷等処理実績の推移

■ 機 雷 : 処理個数 12個、処理重量 約1.8トン

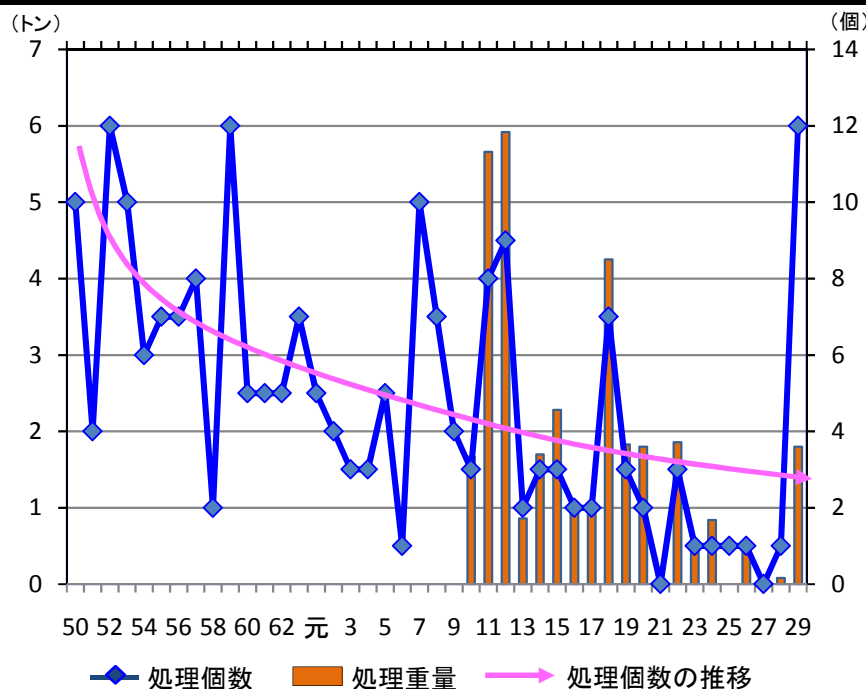
- 記録のある昭和50年度以降、戦後の時間経過に伴い、処理個数は年度ごと異なるが、**処理重量は減少傾向**
- 21年度及び27年度以外は、毎年度処理実績あり

■ その他の爆発性危険物(魚雷、爆雷、爆弾、砲弾等) : 処理個数 15,488個、処理重量 約6トン

- 処理重量は、阪神・淡路大震災の港湾復旧作業時に大量の爆発性危険物が発見された平成7～8年度をピークとして、平成9年度以降は低い水準で推移
- 処理個数は、年度による変動が大きく、**港湾工事において大量に発見されるケース**(18年度:舞鶴西港)があり、28年度は横須賀港の工事において大量の砲弾等を発見※

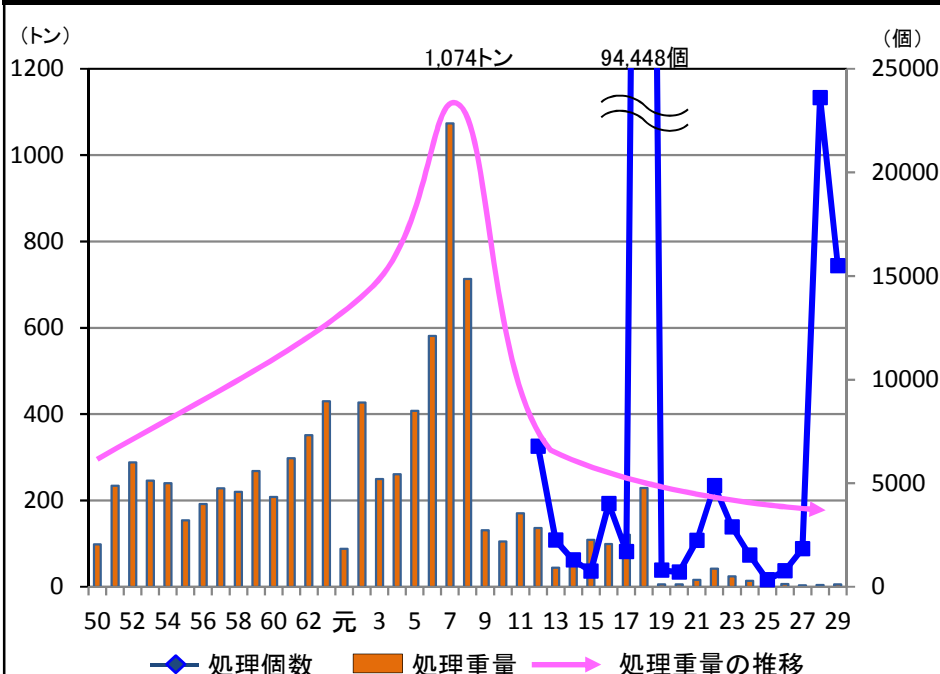
※ 28年度に計26,037個を発見(未処理分を含む。)

① 機雷の処理個数及び重量の推移



※ 昭和49年度以前の記録なし
※ 平成9年度以前の処理重量に関する記録なし

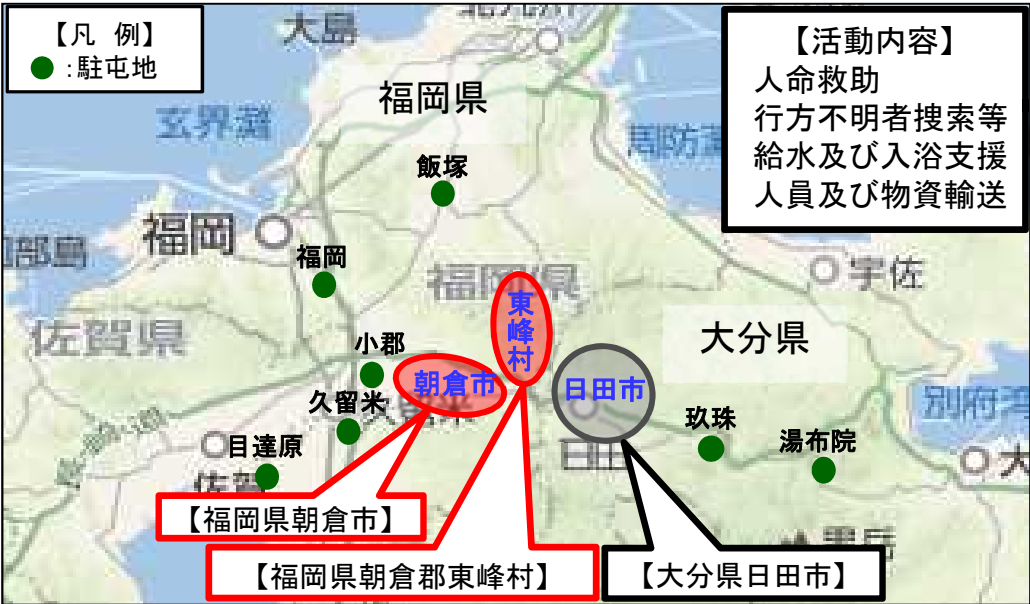
② その他の爆発性危険物の処理個数及び重量の推移



※ 平成7～8年度は、阪神・淡路大震災の港湾復旧作業において砲弾等が大量に発見されたため、処理重量が大
※ 平成18年度は、舞鶴西港の浚渫工事において、旧軍小火器弾が大量に発見されたため、処理個数が大
※ 昭和49年度以前の記録なし
※ 平成11年度以前の処理個数に関する記録なし

平成29年7月九州北部豪雨に係る災害派遣

概 要	○ 平成29年7月5日(水)1900、九州北部地域において、大雨伴う河川氾濫により孤立者、行方不明者及び生活インフラへの被害が発生したことから、大分県日田市及び福岡県朝倉市・東峰村において人命救助、行方不明者搜索、給水・入浴支援及び人員・物資輸送に係る災害派遣を実施 ○ 7月24日、一斉搜索終了に伴い生活支援を主体とした活動へ移行 ○ 8月20日(日)1000、地方公共団体等による対応が可能となったことから、同日、災害派遣撤収要請、同時刻受理
災害派遣の特徴	○ 発災当初の間は、各地の道路が寸断されたことから、ヘリによる孤立者救助を実施 ○ 河川の氾濫により多くの家屋が流失、広範囲にわたり行方不明者搜索を実施するとともに、土砂崩れにより発生した大量の土砂・流木を人力、重機等で除去しながらの行方不明者搜索となったことから、搜索期間が長期化 ○ 活動開始直後からヘリ・地上映伝による状況把握を行うとともに、映像を官邸及び報道機関と共有
派遣部隊	陸自： 第4師団(福岡)、第8師団(北熊本)、第5施設団(小郡)、他方面からの増援部隊 等 海自： 第22航空群(大村) 空自： 航空救難団(芦屋・新田原)、西部航空警戒管制団(春日)、第2高射群(春日) 規模： 人員延べ約81,950名 車両延べ約7,140両 航空機延べ約169機



【派遣実績(累計)】

人命救助	孤立者等救助	658名(うちヘリ415名)
	行方不明者搜索等	8名 搜索時に流木除去を実施
	道路の啓開	1,250m
生活支援	給水支援	1,356.3t
	給食支援	2,309食
	入浴支援	10,479名
	物資輸送	食料 約12,900食
		飲料水 約20,000本
		燃料 約720リットル
		日用品等 約21,890点
人員輸送	被災者	106名
	事業者等	195名

平成29年7月九州北部豪雨に係る災害派遣

行方不明者搜索



孤立者救助



道路の啓開



関係機関との連携



給水支援



入浴支援



人員輸送

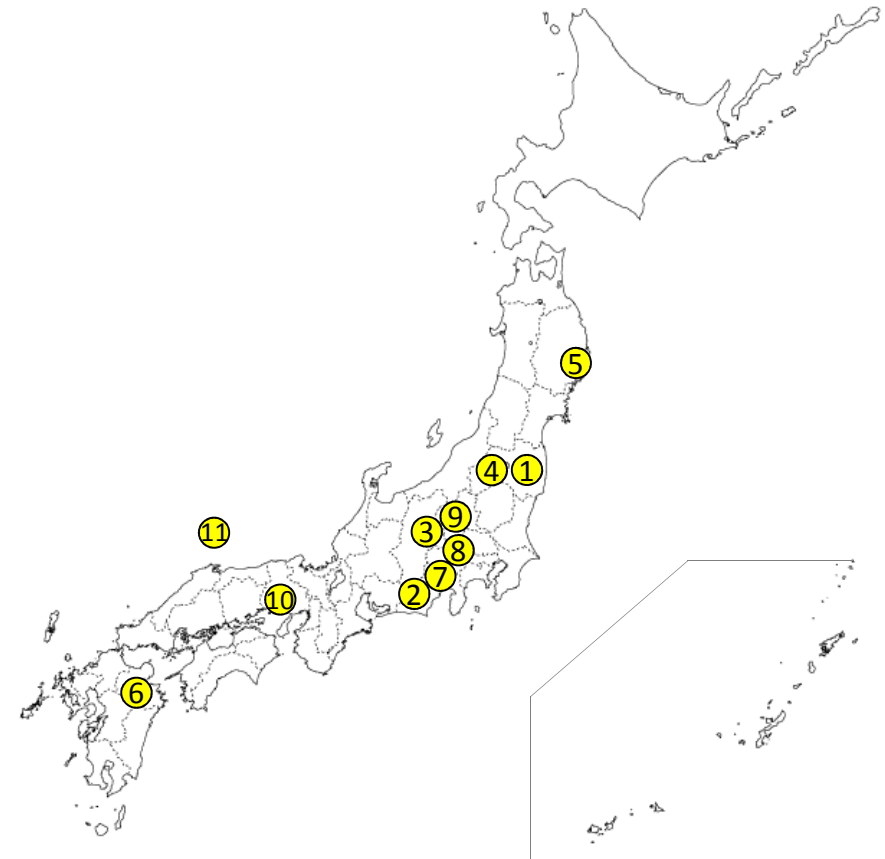


山林火災に係る災害派遣

別紙第2

概 要	29年度は計11回(10コ都県)の山林火災に係る消火支援を実施 特に5月は連続的に山林火災が発生し、約2週間で計5回(4コ県(5コ市町))の災害派遣を実施し、 そのうち派遣規模の比較的大きい災害派遣を2回実施
主 内 容	自衛隊航空機(ヘリコプター)による空中消火、地上部隊による地上消火等

番 号	実施時期	場 所	主要対処部隊 (放水量)
①	4/30～ 5/10	福島県 浪江町	陸自：中央即応集団、第6師団 (約4,567t)
②	5/2～ 5/3	静岡県 浜松市	陸自：第1師団、第12旅団 (約475.5t)
③	5/7～ 5/8	長野県 飯田市	陸自：第12旅団 (約540t)
④	5/8～ 5/9	福島県 会津坂下町	陸自：第6師団 (約95.5t)
⑤	5/8～ 5/15	岩手県 釜石市	陸自：中央即応集団、第9師団 空自：航空救難団 (約4,203t)
⑥	6/4～ 6/5	大分県 中津市	陸自：第4師団 (約4.0t)
⑦	12/18～ 12/19	山梨県 上野原市	陸自：第1師団、第12旅団 (約142.5t)
⑧	1/4	東京都 奥多摩町	陸自：第1師団、第12旅団 (約85.0t)
⑨	1/10～ 1/11	群馬県 南牧村	陸自：中央即応集団、第12旅団 (約505.0t)
⑩	2/5～ 2/6	兵庫県 加古川市	陸自：第3師団 (約3.2t)
⑪	3/29～ 3/30	島根県 隠岐の島町	陸自：第13旅団 (約165.0t)



山林火災に係る災害派遣

航空機による空中消火



UH-1



CH-47

地上消火



CH-47への消火機材の取り付け

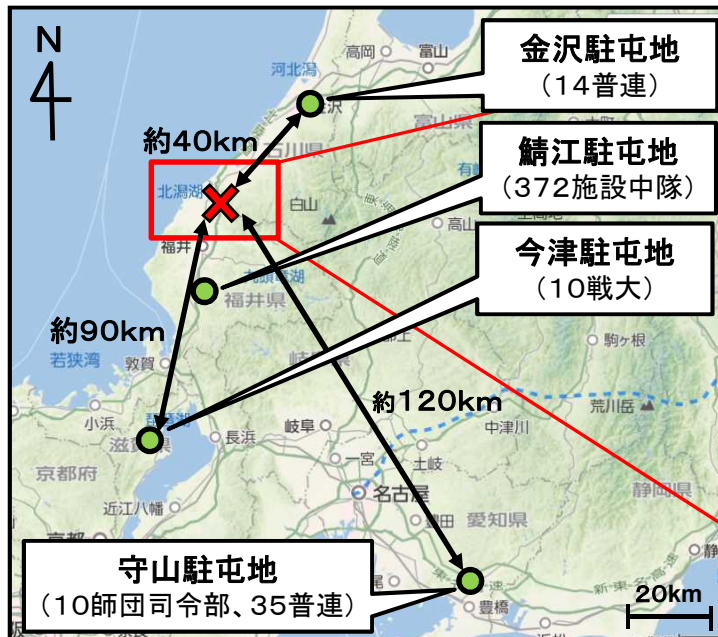


作業準備(消防との連携)



福井県における大雪に係る災害派遣

概 要	○ 断続的な降雪により、福井県内の国道8号線で1400台以上に及ぶ車両の立ち往生発生 ○ 平成30年2月6日(火)1400、福井県知事から第14普通科連隊長(金沢)に対し、人命救助等に係る災害派遣要請 ○ すべての活動を終了したことから、同月10日(土)1049、災害派遣撤収要請、同時刻受理	
活動状況	部 隊	第14普通科連隊(金沢)、第35普通科連隊(守山)、第10戦車大隊(今津) 第10施設大隊(春日井)、第10後方支援連隊(春日井)、第372施設中隊(鯖江) 第382施設中隊(富山) 延べ 約4,925名、約805両 ※ 第10師団長の直接指揮の下、最大1,360名が24時間態勢で活動を実施
	実 績	延べ 車両救出:約1,190両、除雪:約31.8km、給水:約1,465ℓ、給油:約15,320ℓ



※ その他一部の駅や交差点の除雪を実施

福井県における大雪に係る災害派遣

人力による除雪



重機による除雪



物資の配布



立ち往生車両の救出



警察との協同警戒

